

かえる便り 27年度22号

平成27年10月27日

秋冷の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨日ミーティングを開き、3年生がそれぞれの思いを後輩に投げかけました。毎年の恒例行事ですが、後輩は神妙な面持ちで聞いています。しかし、私は2年前も昨年

も同じことを言っています。『今のままでは絶対に勝てない!』 何故なら、

「これだけやり切った」と言える努力をして、充実感と感動を自分自身から受け

て試合をすることが出来たか? 自己満足でなく、自分自身がやり切ったという

喜びを得る ことが出来ない者が 人を感動させる ことは出来ない。
「ロードで毎回トップの大坂、成績で一番の寺本に勝てるか?」 という質問に、
“誰も勝てない” と言います。これでは目標達成は無理です。身近な先輩の努力を

見て、それ以上を目指す覚悟のない者が、目に見えないところで“日本一を目指して懸命に努力” している選手の想いを知ることは出来ないからです。



負けたくないという気持を持ち続けることが出来る人になって欲しい。一事に集中することです。

『主一無適』 しゅいつむてき 事に当たっては、その一事に 精神を集中統一して 他に散らさない。

『戦わずして人の兵を屈するは善の善たるもの』
圧倒的な戦力があれば、相手の戦意を喪失させることができます。スポーツは戦力に関係なく試合をしますが、戦意喪失させる“力” 伝統がありますか?

体力気力が充実して元気な時は誰でも戦う気持を持っていますが、失点を重ね苦しくなると諦めやすい。“絶対に負けたくないという気持” を持ち続ける人が目的を達成し真の勝利者になれると思いますよ! 苦しくなった時からが本当の勝負です。

“心が変われば 態度・行動・習慣が変わり 人格・運命・人生が変わる”

この 心 とは、絶対に諦めないで目標を達成する という強い意志を継続する気持のことです。難しいことに挑戦する気が無いのなら目標を下げて、楽しめばよいのです。人生いろいろな楽しみがあります。高校三年間にサッカーをする時間は、人生の1%にも満たないのです。この僅かな時間、勉強とサッカーに全力投球する気持ちのない人に、勝負の女神がほほ笑むでしょうか? 主将に濱口、副将に福増、児島、岡本君がなりました。彼等が“挑戦する心を抱く” よう指導したいと思います。